

筑西市名誉市民・ファナック(株)名誉会長

# 追悼 稲葉 清右衛門 さん

筑西市名誉市民でファナック(株)名誉会長の稲葉清右衛門さん(筑西ふるさと大使)が、10月2日にご逝去されました。95歳でした。

稲葉さんはファナック(株)の創業者で、産業用ロボットを手掛ける世界的な企業に育て上げました。筑西市内にも敷地面積60haに及ぶ工場が操業しています。国内外の産業の振興と発展に寄与された稲葉さんの功績をご紹介します。

稲葉さんは、筑西市(旧明野町)向上野出身。昭和21年に東京帝国大学(東京大学)第二工学部精密工学科を卒業後、富士通信機製造(現富士通)に入社しました。富士通では技術者として研究開発に携わり、民間部門の責任者だった稲葉さんが

は日本初のNC(数値制御方式)工作機械を開発。昭和40年には、東京工業大学で博士号(工学)を取得されました。昭和47年に富士通の計算制御部門が独立してファナック(株)が設立され、同部門の責任者だった稲葉さんが専務取締役に就任。昭和50年には代表取締役社長に就任し、産業用ロボットとFA(自動制御システム)の分野での追隨を許さない世界トップメーカーとしての地位を築き上げました。また、海外にも早くから目を向

## 「黄色いロボット」

ロボットによる工場の自動化は、生産性の向上だけではなく、品質の安定化にも貢献しています。



## ファナック株式会社

本社 山梨県南都留郡忍野村  
設立 昭和47年  
資本金 690億円  
従業員 8,164人  
売上高 5,083億円  
(2020年3月期連結実績)

## ふるさと筑西市の発展に寄与

平成元年12月、市内向上野のつくば明野工業団地内に、ファナックの「筑波工場(敷地面積約6・7ha)」が操業を開始しました。同年5月に行われた工場用地譲渡契約の調印式で、稲葉さん(当時代表取締役社長)は、「私は、明野町向上野の出身で

ありまして、ここに工場を建設できるということは、誠にうれしいことでもあります。ファナックといたしましても全力を上げて、茨城県並びに明野町の期待に添えるよう努力してまいります」と語っています。平成17年には、さらなる生産



稲葉清右衛門さん 大正14年3月生まれ。東京帝国大学(東京大学)卒業。工学博士。昭和47年富士通(株)取締役就任、ファナック(株)創立、専務取締役就任。昭和50年ファナック(株)代表取締役社長。平成7年同社代表取締役会長。平成12年同社相談役名誉会長。平成17年同社名誉会長。



ファナック本社と工場群(山梨県忍野村) 富士山麓の広大な敷地に、本社、研究所、工場及び厚生施設などを展開。

る田宿地区に約28・7haの新工場が操業し、同社の工場用地は市内だけで約60haに及びます。イメージカラーである鮮やかな黄色の建物は、豊かな自然と美しく調和し、今や本市のシンボリックな存在に。各工場では、主力商品である「ロボット」、「ロボドリル」が生産され、世界中の製造現場へ送られています。

## ものづくりという道を変わず歩む

ファナックの本市への工場進出は、産業の活性化や新たな雇用の創出、インフラの整備による適正な土地利用の推進、そして、税収による財政基盤の安定化をもたらしました。

これらの功績を顕彰するため、平成17年3月、稲葉さんに筑西市名誉市民の称号が贈られました。

贈呈式で稲葉さんは「筑波山の麓、豊かな自然が残る筑西の地から、我が社の製品を世界に送り出すことができること、そして、郷里筑西市の発展に少しでも貢献できるこ



ファナック筑波工場(筑西市内) 平成元年に操業した「樺(けやき)の工場(向上野)に続き、平成20年(写真奥)と平成30年(手前)に操業した「曙杉(あけぼのすぎ)の工場」(松原・田宿地内)。

とを大変うれしく思います。これからも、ものづくりという道を変わず歩みながら、社会の発展のために貢献していきたい」とあいさつされました。

世界の製造現場の生産性を飛躍的に向上にさせるといふ大きな仕事を成し遂げ、事業を通じて地域社会の発展にも大きな足跡を残された稲葉さん。

ご冥福をお祈りいたします。